

2024年度 メリー★ポピンズ 成増ルーム 事業計画書

1. 基本方針

保育理念…「にんげん力。育てます。」

保育目標…「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

私たちが育てる6つの力

- 怪我をしない体を育てる
- 活動を選択し、自分で考えて行動する
- 自分でできることを自分でする
- 生死を知る「食の循環サイクル」
- 感じたこと、考えた事を表現する
- すべての人との関わり判断、行動力を身に着ける

法人の保育方針に基づき、保育園、地域、保護者が相互に関わり合いながら共育てし、地域に選ばれる園を目指します。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子どもが生活力を体得できる環境を作る
	実践予定内容	道具の扱い方・遊び・歌をうたうこと等を保育者が常にやって見せる環境を作る。生きる力（感情制御力・人と関わる力）を育むために、保育者の見守りのもと様々な経験と失敗を体験する場をもつ。
2	計画・ねらい	保育所保育指針にて育むように定められた10の姿を体得できる環境を作る
	実践予定内容	まず職員が10の姿について語れる知識を付け、子どもたちの共同性・社会性・規範意識の芽生えを大切にし園全体で共有する。。
3	計画・ねらい	保護者の心に入り込んだ接遇・保護者がいつ見ても気持ちが良い施設を目指す。
	実践予定内容	清掃を自分事として捉え、身の回りのゴミを進んで拾う等の自主的に動く職員集団を目指す。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	園と家庭の共育てを行う
	実践予定内容	子どもを真ん中に、保育者と保護者が手を取り合い支え一緒に子育てを行う。子どもに楽しいと思う体験、愛されている実感を感じ取れる環境を協力して作り上げる。
2	計画・ねらい	自園の強み・特徴を生かした園や子どもの姿の記録と公開。
	実践予定内容	アプリのタイムラインで保育を伝えポートフォリオで子どもの心情・意

		欲・態度を伝えていく。SNSでの保育の見える化を図る。
3	計画・ねらい	一人ひとりにあった離乳食を提供する。
	実践予定内容	家庭との連絡を密に行い、発達に応じて適宜見極める。嚥下と咀嚼についての理解を深め個々に応じて離乳食を進めていくアドバイスを行う。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域の子どもに遊ぶ場を提供し保護者同士の交流の場所となる。
	実践予定内容	子育てサロン・青空保育・見学を通して子育ての悩みを受けながら地域に根付く関係を構築する。
2	計画・ねらい	シニア交流・職場体験等の異世代交流を行い開かれた保育園を目指す。
	実践予定内容	地域での様々な人対人のコミュニケーションを通し身近な存在になり、園を知ってもらう。

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	保育者の主体性を培う
	実践予定内容	自ら学ぼうとする意欲の元、その学びを園に展開し園職員全体が向上していく集団を目指す。
2	計画・ねらい	子どもの人権を理解する
	実践予定内容	園内研修煮て学びを深め現状の子どもたちとの関わりについて振り返る機会を設ける。人的環境の重要性を意識する保育を展開する。
3	計画・ねらい	大人のにんげん力UP
	実践予定内容	チームを感じてもらおうべく各々の得意とする項目を意識し保育にあたる。またそれを全職員が受け止め相、年間を通してみんなで補いあえる関係性を目指す。

〈5〉 環境実施目標

1	計画・ねらい	五感で畑を体験する
	実践予定内容	種まき・水やり・収穫を通し野菜への興味を培う。土に触れ免疫を獲得し菌に強い体を育てる。
2	計画・ねらい	野菜の下処理を日常的に行い野菜に触れる
	実践予定内容	当日の昼食に使う野菜に触れ、野菜の名前の興味を育み、下処理（皮むきなど）を行う。

〈6〉 選ばれる園をつくる

1	計画・ねらい	認証保育所として地域の待機児童解消に努める。
	実践予定内容	戸外活動時の地域子育て家庭への言葉掛けを通し、保護者、地域、自治体の方から愛されるよう各々ができる限りの働きかけを自発的に行う。また、定員に空き枠が出た際にはすぐに掲示し待機児童を入園に導く。
2	計画・ねらい	来訪者にとって気持ち良い対応を心掛ける。
	実践予定内容	自分が来訪者になったケースを考え、どう対応されたら嬉しいかをイメージし実践する。美観に努める。
3	計画・ねらい	スタッフがやりがいを持ち働きやすい園になる。
	実践予定内容	スタッフ一人ひとりのやりがいに寄り添い心を開きあえる関係性を目指す。お互いの良いところを認め合い心理的安全性を担保する。

2. 施設運営

〈1〉 施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児
6人	12人	2人

〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉 スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	6人
	栄養士	1人
パート スタッフ	保育士	3人
	保育補助	2人

3. 運営方針

〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回 20分	提案と意見交換・園内研修・会議報告・ディスカッション
給食運営会議	月1回	離乳食進行検討・食べたくなる意欲を育む環境ディスカッション
事故防止委員会	月1回	園内外における事故・ヒヤリハット・インシデント事例を基に事故予防と防止の具体的な策を検討
ケース会議	月1回	気になる子についての情報共有と保育方法の確認・検討

〈2〉 法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	法人全体での運営課題の解決、情報共有
施設長勉強会	月1回	業務改善、マネジメント、保育内容の充実を図る検討
食育会議	年4回	給食提供および食育に関わる検討
保健会議	年4回	児童保健に関わる検討
子育ての質を上げる会議	月1回	法人内系列園と実践共有や保育内容の充実を図る検討

〈3〉 各種系の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内備品管理・発注
安全対策係	防災実施点検・設備点検・事故防止点検の実施
防火管理者	災害対策・消防計画に則った避難訓練の実施責任・自主点検の実施
食品衛生責任者	給食提供責任・食材の安全衛生管理
畑係	年間計画に基づいた畑活動の実施、計画の振り返り、畑管理
生き物係	飼育動物の環境管理、餌の管理・発注

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	・個々の生理的欲求に応え、保育者と情緒的な安定した信頼関係を築く。 ・個々の発達を把握し、十分な探索活動が出来る環境を保証し、外への興味に繋げていく。
	下半期 0～1歳児	・子ども自らが自発的に活動し、様々な経験を積み重ねる。 ・身近な人との応答のある安定したかかわりの中で、十分に身体を使い、満足感の得られる遊びをしていく。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月14日と11月15日に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	子どもの食欲と意欲を育てる
	実践予定内容	十分な遊びから自然とお腹が空く子、意欲的に食べる子が増えるよう生活の中で保育者、栄養士と食事作りや準備に関わり、子どもの食への関心を広げる。
2	計画・ねらい	給食残渣の削減を計画し、振り返る
	実践予定内容	子どもが自分たちで盛り付け、配膳して食べる事を基本として、自分で食べる量を調節していく。
3	計画・ねらい	実体験を通して食や食の循環について興味関心を持つ
	実践予定内容	畑活動から作物が育つことのうれしさや喜びを感じられるようにする。加工食品（梅干し・味噌・たくあん・干し柿など）を作り給食やおやつで使用する。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	歯磨き指導・手洗い、うがい指導
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 12～2月頃・・・インフルエンザ 11～3月頃・・・ウイルス性胃腸炎
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	なし
エピペン使用できるスタッフ	本日現在12名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員1名については4月30日までに受講予定
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ

健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	自ら経験を選び取ることができ物的環境の設定
	実践予定内容	保育者が一定の距離を取り見守る“もの”を常設することでトラブルを経験し折り合いをつける力が育まれていくのを目指す。
2	計画・ねらい	安全な環境で遊べるべく十分な点検を行う
	実践予定内容	毎日の清掃作業の際に点検を行い。破損場所、修繕を要する場所の確認を細やかにを行う。



〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	ままごと台	室内	毎日

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	・消防計画に基づき、自衛消防隊を編成し防災訓練を行う。・定期的に火災・地震発生時のマニュアルの読み合わせを行い、避難方法の確認を行う。
2	実践予定内容	安全計画に基づき事故防止チェック、設備点検チェックの実施。
3	実践予定内容	ヒヤリハット・インシデントの検証を行い、再発防止に努め、その都度保育の見直しを行う。
4	実践予定内容	・年2回の不審者侵入訓練の実施。あらゆる場合を想定し、職員で連携し対応できるようにする
5	実践予定内容	光化学スモッグが発生しやすい気象条件・注意喚起を把握し、発生時に迅速な対応をする。

新人研修	新人社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> ■入社時オリエンテーション ■現場OJT研修 ■保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む) ■コンピテンシー研修 <p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■新人社員研修 → 会場研修 → 系列園保育実地研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■全社員研修 (年1回) ■園内研修 (月1回以上) ■保育スキル研修 (エリア別) ■リーダー養成研修 (9~2月) ■業務改善研修 (月1回) (= 保育の質を上げる会議) ■施設長勉強会 (月1回) ■デンマークインターンシップ (年1回) ■コンピテンシー自己採点 (月1回) ■人権チェック (4月・10月) ■外部研修 ■上級救命救急資格取得講習 <p>←避難訓練研修</p>

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

世代育成の観点から積極的に受け入れを行い、実習生や生徒の一人ひとりの様子に合わせて具体的かつ家庭的に援助・指導を行う。

また、実習やボランティア活動の実施に際し、法人理念や地域における役割などを説明することで園の地域施設としての役割について周知・理解の深耕に努める。

1	実践予定内容	実習生…保育所保育指針をベースとし、保育品質マニュアルに基づいた保育方法の実践指導を行う。
2	実践予定内容	職場体験…子どもと遊ぶ楽しさから用語と教育の実体験を提供する。

7. スタッフ育成と研修計画

会議の場を大切に。主にディスカッションを深めることで子ども観を共有し、多様に子どもを捉えていく根底を培う。事故目標設定 (MBO) を一人ひとりの職員に応じて設定し、課題についての計画、実行、振り返りを重ねて乗り越えていけるサイクルを作り上げる。

園全体がセキュアベースになり、自発的な挑戦、失敗しても大丈夫という基盤を作り上げ職員育成を行う。

〈1〉2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 虐待防止研修 ③ 園内研修I『子どもの人権』	自身の保育振り返り・内部監査チェック表自己評価の共有・人権についてのディスカッション等

		④ 認証保育所の特性 ⑤ 10の姿“健康な心と体”	
5月31日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修2 『SIDSについて』 ③ 10の姿“自立心”	自身の振り返り、SIDSについてのディスカッション等
6月28日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 水遊びの注意事項 ③ 園内研修3 『保健・衛生について』 ④ 10の姿“共同性”	自身の振り返り、保健・衛生についてのディスカッション等
7月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修4 『保育環境について』 ③ 10の姿“道徳性・規範意識の芽生え”	自身の振り返り、保育環境についてのディスカッション等
8月23日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修5 『食育について』 ③ 10の姿“社会生活との関わり”	自身の振り返り、食育についてのディスカッション等
9月27日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修5 『危機管理について』 ③ 10の姿“思考力の芽生え”	自身の振り返り、危機管理についてのディスカッション、上期振り返り等
10月25日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 虐待防止研修 ③ 園内研修6 『子どもの人権について』 ④ 10の姿“自然との関わり・生命尊重”	自身の振り返り、子どもの人権についてのディスカッション等
11月29日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修7 『接遇について』 ③ 10の姿“数量・図形・標識や文字などへの関心・感覚”	自身の振り返り、接遇についてのディスカッション等
12月27日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修7	自身の振り返り、保護者支援についてのディスカッション等

		『保護者支援について』 ③ 10の姿 “言葉による伝え合い”	
1月31日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園内研修7 『地域支援について』 ③ 10の姿 “豊かな感性と表現”	自身の振り返り、地域支援についてのディスカッション等
2月21日	18:00~21:00	策定会議①	今年度振り返り・次年度園目標決め・次年度事業計画発表等
3月2日	9:00~18:00	策定会議②	次年度年間行事決め・畝づくり等

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月1日~30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デンマークインターソップ®	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

子どもたちが地域の中で、幅広い世代のより多くの人々と関わり合うことが健全な育成の観点から重要であることを踏まえて、地域交流計画に基づく活動を行う。活動を通して、子どもたちが地域に愛着を持ち、地域の方が子どもたちを地域にとってかけがえのない存在であると認識してもらえよう職員も地域の方と積極的に交流し、温かい支援に対する感謝の気持ちをしっかり伝えることを心掛ける。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：成増児童遊園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	シンシアリハビリデイサービス成増2号店に月に1回訪問をする。
異年齢交流	地域の小・中学生と交流する機会を設ける。移動保育で法人内の園の3.4.5歳児との交流を定期的に行う。
地域拠点活動	ちきんえっぐ、青空保育の日程や内容がわかりやすいよう掲示を行い、日々の地域の方々とのかかわりの中でお誘いをしていく。

9. 小学校との連携の計画

該当なし

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

個別配慮の必要な児童は、個別支援計画を作成し、担当職員だけにとどまらず、園会議にて情報共有する。

〈2〉毎月のケース会議開催

（4～3月に計12回開催予定 参加者：2～4名予定）

毎月の園会議に先立ち、関係機関とも連絡を取り合い担当職員中心として施設長・主任・栄養士が参加する

〈3〉進級引継

進級時の引継ぎは、児童の個別記録を見ながら、現在の子どもの様子を共有する。

1.1. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月) ~ (土) 9:30~16:30
子育て相談	(月) ~ (土) 13:00~16:30
勝手籠設置	(月) ~ (土) 7:00~20:00 (開園時)
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育 (支援センター主催)	月1回 公園名: 成増児童遊園にて開催

1.2. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2024年5月31日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻: 9時00分

自己評価終了予定時刻: 17時30分

自己評価実施予定者: 朝重雅恵、堀内みなみ、菅原詩乃

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日: 8月25日

1.3. 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	子ども同士のつながりを見守る
	振り返り	園会議での環境ディスカッション・園長大学・保育士大学の動画からの学びを通じたディスカッションを重ね大人が先読みしすぎないで子どもたちが関わり合い学ぶ姿をサポートできた。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	地域に開かれた施設になる
	重点施策	地域の方がいつでも立ちいれるような保育園であるために、子育て支援を行い、共育を意識する。園運営の理解を深め、接遇や美観を提供し地域の方に愛される保育園になる。SNSの情報発信強化を行う。
2025年度	目指す姿	板橋区の認証保育所として選ばれる園のモデルになる
	重点施策	待機児童解消に努め常に満床を継続し続ける。月極、一時預かり共に選ばれる園を目指すべく子ども・保護者との安定した信頼関係を築く。
2026年度	目指す姿	板橋区・練馬区の子育て主要拠点となる。
	重点施策	近隣地域の方のみならず、板橋区・練馬区の子育て世帯の方々が集い子育ての仲間の輪を広げられるような機会を多く作る。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 成増ルーム 施設長 朝重 雅恵